

2013 年度 小委員会活動成果報告

(2014 年 2 月 5 日作成)

小委員会名	強非線形問題の理論と応用小委員会		主 査 名：元結正次郎 就任年月：2013 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (応用力学運営委員会)		委員長名：緑川光正 主 査 名：元結正次郎
設 置 期 間	2013 年 4 月 ～ 2017 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建築構造における強い非線形性を有する問題（崩壊問題・接触問題等）に対して現在認知されている理論の整理 ・ 強非線形問題に関する数値解法および解析モデルの調査研究 初年度：昨年度までにまとめてきた各構造種別の情報を基に粗原稿を作成する。 2 年度：章毎の記載事項や表現などの調整を行うとともに、追加記述すべき事項について検討する。 3 年度：刊行を目指した最終調整を行う。 4 年度：成果を題材にしたセミナーなどを実施する。		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無 主査：元結正次郎（東工大） 幹事：大塚貴弘（名城大）、熊谷知彦（明治大） 委員：荒木慶一（京大）、磯崎浩（建築センター）、小河利行（東工大）、寒野善博（東京大）、多田元英（大阪大）、長沼一洋（大林組）、三宅辰哉（日本システム設計）、宮村倫司（日大）、武藤厚（名城大）、森迫清貴（京都工繊大）、山下拓三（防災科学技術研究所）		
設置 WG (WG 名：目的)			
2013 年度予算	70,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	3 回（年度内計画を含む）
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	1. PD「建物の強非線形挙動の再現における可能性と課題」 『構造部門(応用力学)パネルディスカッション資料：同上』 参加者数 101 名
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 素稿をまとめるに当たって、そのまえに大会 PD を開催したことにより、具体的な成果物のイメージが委員間で共有されるとともに、委員以外の意見を広く徴収できた。 2. 各担当の項目に対して 3 月開催の委員会にて素稿をとりまとめることで計画通りとなる予定。
委員会活動の問題点 ・ 課題	1. 多くの読者が得られるようにするための内容の工夫